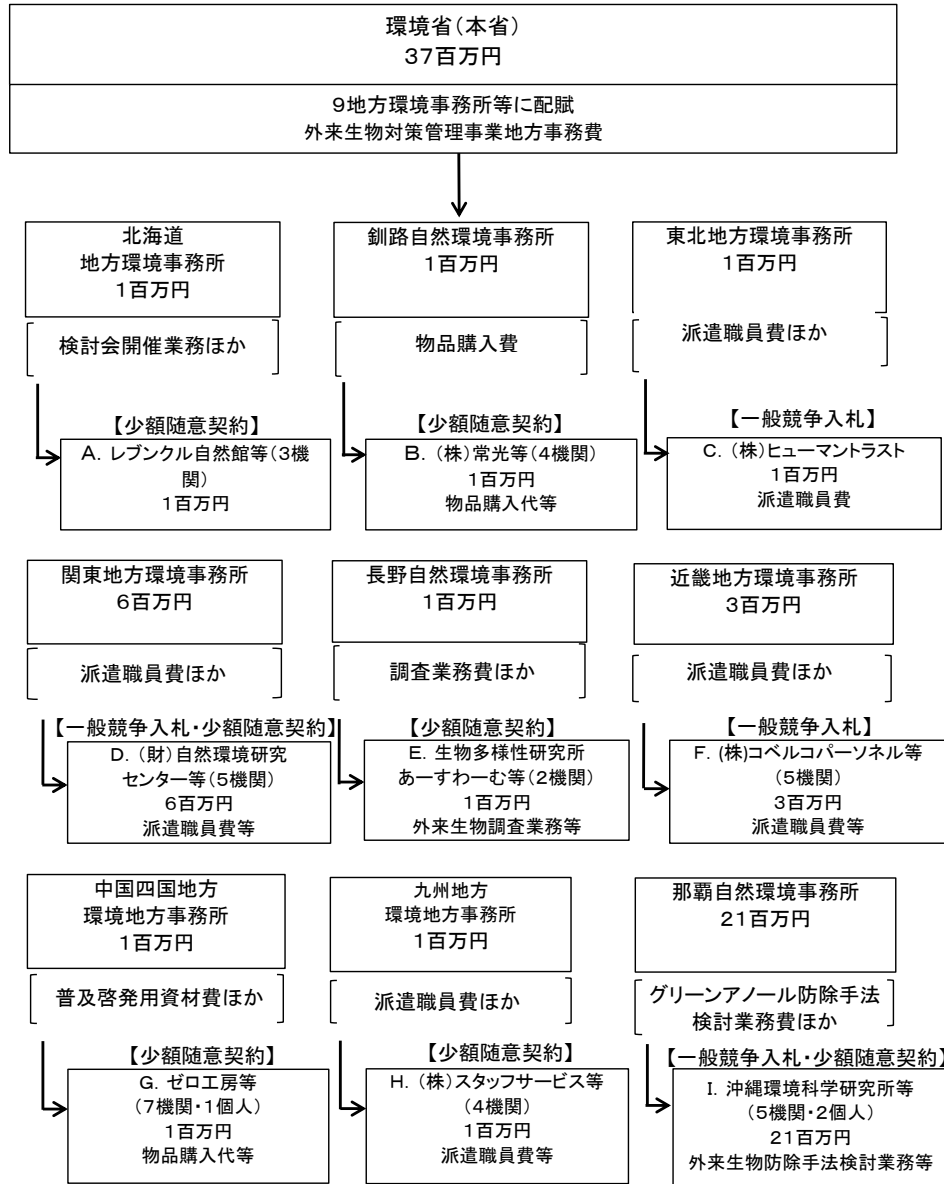


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	外来生物対策管理事業地方事務費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	外来生物対策室	室長 牛場 雅己					
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律第5条、第10条、第18条、第27条及び第28条	関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010(H22.3.16閣議決定)						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(以下、外来生物法という。)の実効性を確保し、侵略的な外来生物によるわが国の生態系等に係る被害を低減し、新たな被害の発生を封じ込める。このため、現場に近い地方出先機関において、①外来生物法関連業務に必要な事務処理を、正確かつ迅速に行う。②税関や警察等と連携しながら輸入規制や個体の引き取り処分等を円滑に実施し、侵略的な外来生物の我が国への侵入及び国内でのまん延を防止する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①外来生物法に基づく申請・届出の審査、規制内容の申請者への周知及び防除の確認・認定の諸業務を実施するために必要な派遣職員を雇用する。②水際(税関)において任意放棄された特定外来生物等の個体並びに警察及び地方公共団体から引渡された特定外来生物の個体について、引取及び処分等を行うほか、輸入業者・旅行者や地域住民への普及啓発事業を行う。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予算の状況	当初予算	42	41	41	40	29		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	42	41	41	40	29		
	執行額	25	32	37					
執行率(%)	61	78	91						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	国民からの飼養等許可の申請件数や届出件数、特定外来生物の引取要請件数等の外部要因に応じて、本事業の内容(分量)は決まるため、成果目標を予め設定して行う業務ではない。		成果実績	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	<ul style="list-style-type: none"> ・飼養等許可件数: 特定外来生物の飼養等許可の件数。 ・飼養等に係る届出数: 飼養等許可を既に受けている者による、特定外来生物の数量増減届等の届出件数。 		活動実績 (当初見込み)	飼養等許可件数	1,127件	3,719件	19,408件	—	
				飼養等に係る届出数	1,031件	3,888件	12,080件	—	
			各活動実績については、本事務費により雇用した派遣職員に加え環境省の正職員による作業も伴って実現されているものである。このため、単純に実績値を派遣職員雇用代で割ることは不相当であり、単位当たりコストは示していない。						
単位当たりコスト			費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	鳥獣等保護費	40	29	購入物品、賃金職員等の見直しによる減					
	計	40	29						
平成23・24年度予算内訳									

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	1百万円未満の少額契約を除き、競争性のある契約を極力実施している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>特定外来生物の飼養等は今後も行われる見込みであり、このための事務処理を引き続き行う必要がある。従って、業務自体を廃止することはできないものの、引き続き(少額契約を除き)極力競争性のある契約を実施すると共に、事業の進捗状況を随時把握し、業務の効率化に努めるものとする。併せて、事務所の予算執行状況を本省側で引き続き定期的に確認し、適正な執行が担保されるようにする。なお、効率的・効果的な執行に努めた結果、平成22年度は執行率が91%まで改善された。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業内容の精査・見直しを行い、必要最低限の支出となるように検討を進めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>購入物品の見直しや賃金職員等の見直しにより、概算要求額を減額。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

※数字はいずれも四捨五入で記載している。四捨五入しても1百万円に満たない支出は記載していない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. レプンクル自然館等(3機関)			F. (株)コベルコパーソナル等(5機関)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
			人件費	派遣職員費	2
計		1	計		3
B. (株)常光等(4機関)			G. ゼロ工房等(7機関・1個人)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		1	計		1
C. (株)ヒューマントラスト			H. (株)スタッフサービス等(4機関)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	派遣職員費	1			
計		1	計		1
D. (財)自然環境研究センター等(5機関)			I. 沖縄環境科学研究所等(5機関・2個人)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	派遣職員費	3	外部委託	外来生物(グリーンアノール)防除手法検討業務	6
計		6	計		21
E. 生物多様性研究所あーすわーむ等(2機関)			J.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		1	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	レブンクル自然館	国内希少野生植物(レブンアツモリソウ)保護増殖分科会開催業務	0.5	随意契約	-
2	(株)グリーンウッド	外来生物法の飼養等許可証印刷費	0.3	随意契約	-
3	ファームエイジ(株)	物品購入代(センサーカメラ)	0.1	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)常光	物品購入代(ピアグリーン(くもり止め)等)	0.4	随意契約	-
2	和商(株)釧路営業所	物品購入代(ビーパーシート等)	0.2	随意契約	-
3	(株)猛禽類医学研究所	外来生物処分費	0.008	随意契約	-
4	北海道エア・ウォーター (株)釧路支店	外来生物処分費	0.004	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ヒューマントラスト	外来生物法関連事務のための職員派遣	1	10	55

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	外来生物法及び鳥獣保護法の輸入規制に係る事務の補助に関する派遣業務	3	1	93
2	(株)サウズグッド	外来生物法及び鳥獣保護法の輸入規制に係る事務の補助に関する派遣業務	2	2	59
3	(株)エーキューエス他1者(民間団体)	外来生物及び防除用具の保管等業務	0.4	随意契約	-
4	(株)NTTドコモ	携帯電話使用料	0.3	随意契約	-
5	(株)シューエイ商行他5者(民間団体)	物品購入代(外来生物対策に必要な物品)	0.3	随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人 生物多様性研究所 あーすわーむ	外来生物(ソウシチョウ・ガビチョウ)生息状況調査業務	1	随意契約	-
2	富山県ペストコントロール協会	特定動物処分費	0.04	随意契約	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コベルコパーソネル	外来生物法関連事務のための職員派遣	2	4	53
2	(株)地域環境計画	外来生物処分費	1	随意契約	-
3	(株)ビッグウェーブ	外来生物法関連事務のための職員派遣	1	3	46
4	(株)関葉ほか	物品購入代(ウイルス検査キット、消毒用アルコール、水質検査薬、水温計等)	0.2	随意契約	-
5	琵琶湖を戻す会	外来生物問題普及啓発業務	0.05	随意契約	-
6	(株)NTTドコモほか	携帯電話使用料、任意放棄個体郵送代	0.03	随意契約	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ゼロ工房	物品購入代(外来生物拡大模型)	0.4	随意契約	-
2	特定非営利活動法人ワニガメ生態研究所	外来生物処分費	0.2	随意契約	-
3	日本アート印刷	外来生物問題普及啓発パンフレット印刷費	0.2	随意契約	-
4	株式会社甲玉堂	物品購入代(外来生物資料・標本等整理用の書庫・棚)	0.2	随意契約	-
5	特定非営利活動法人四国自然史科学研究セン	物品リース代(外来生物の剥製)	0.2	随意契約	-
6	A氏	外来生物法関連事務のための職員雇用	0.1	直接雇用	-
7	剥製工房ギャラクシー	物品購入代(外来生物の剥製)	0.05	随意契約	-
8	サンエス事務機	物品購入代(レタートレー)	0.006	随意契約	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)スタッフサービス	外来生物法関連事務のための職員派遣	1	随意契約	-
2	株式会社城野印刷所	外来生物問題普及啓発業務	1	随意契約	-
3	たかた動物病院	外来生物処分費	0.03	随意契約	-
4	(株)NTTドコモ	携帯電話使用料	0.02	随意契約	-

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄環境科学研究所	外来生物(グリーンアノール)防除手法検討業務	6	10	90
		外来生物(グリーンアノール及びシロアゴガエル)の捕獲手法検討業務	1	随意契約	-
2	中京銃砲火薬店	外来生物捕獲用資材費	6	1	89
3	八千代エンジニアリング(株)	外来生物(シロアゴガエル)対策業務	3	6	59
4	沖縄環境分析センター	外来生物(タイワンスジオ等)分布調査業務	2	3	58
5	(財)沖縄県公衆衛生協会	外来生物(タイワンスジオ)防除手法検討調査業務	1	随意契約	-
6	B氏	カエルツボカビマット維持管理業務	0.3	随意契約	-
7	C氏	カエルツボカビマット維持管理業務	0.2	随意契約	-